

竹鶴政孝とリタ展&トークイベント

「国産ウイスキーの誕生を支えた 竹鶴政孝」

住吉区内にあった摂津酒造からスコットランドへ留学し、日本の国産ウイスキーの誕生を支えた、竹鶴政孝・スコットランド人の妻リタは、9月29日より放送を開始したNHKの連続テレビ小説「マッサン」のモデルとなった人物です。

竹鶴政孝を通して、住吉が醸成した文化を感じてください。貴重な資料をもとに、当時の2人が過ごした住吉での生活をお伝えします。

展示

「竹鶴政孝とリタ展」

とき 10月19日(日)~22日(水)
10:00~16:00(予定)
ところ 帝塚山学院 同窓生顕彰ホール

トークイベント・音楽イベント

トークイベント「竹鶴政孝とリタ」
音楽イベント「スコットランドの文化に触れる 合唱&パブパイプコンサート」
とき 10月19日(日)
ところ 帝塚山学院 芸術棟4階 集会室



「マッサン」のウイスキー
(ニッカ第一号ウイスキー)



結婚間もないころの竹鶴政孝とリタ

平成27年
1月15日[木]-21日[水]

<展示>あべのハルカス近鉄本店7階「縁活」街ステーション

竹鶴政孝・リタ夫妻をテーマにした展示・トークイベント・音楽イベントを開催予定。
詳しい内容は、後日広報すみよし・住吉区ホームページでお知らせします。

- 主催 住吉区役所
- 協力 アサヒビール株式会社、南海電気鉄道株式会社、すみよし歴史案内人の会、千島土地株式会社、学校法人 帝塚山学院(順不同)
- 問合せ 教育文化課(教育文化グループ) (区役所3階34番窓口) ☎6694-9989 ☎6692-5535

1 姫松
明治33年(1900)、天王寺西門から東天下茶屋まで、馬15頭、車7両をもって創業された「大阪馬車鉄道」が現在の上町線の前身。木造の姫松駅舎は築後約100年になります。

2 竹鶴夫妻住居推定地
英国から帰国して摂津酒造に勤務していた時代、竹鶴政孝・リタ夫妻は資産家芝川又四郎氏所有の家を借りて姫松の辺りに居を構え、山崎に移るまでの約3年間をここで過ごしました。芝川氏の自叙伝などによりこの場所に竹鶴夫妻の借家があったと推定されます。

3 高谷家住宅
銅板切妻屋根のてっぺんに風見鶏、2つの屋根窓と煙突が童話のような雰囲気を見せる。大正13年(1924)頃建築の住宅です。洋風の格天井と暖炉のある和室など、和洋の調和を生かした造りとなっています。応接間は船室に見えて造られ、船窓のようにはめ込まれたステンドグラスにはヨットの絵が描かれています。

4 帝塚山学院
大正5年(1916)に設立認可、翌年帝塚山学院小学校(小学校)を開校。翌々年には幼稚園(幼稚園)、さらに大正15年(1926) 女学院(高等女学校)を開校し、地域の教育機関の中核的存在となりました。初代学院長の庄野貞一氏が提唱した「力の教育」と「自学主義」を伝統として引き継ぎ、現在は学校法人帝塚山学院として幼稚園から大学院までのすべての教育機関をもつ総合学園(帝塚山)にあるのは幼稚園から高校までです。庄野氏の次男で童話作家の庄野英二氏も帝塚山学院で教鞭を執り、後に帝塚山学院大学学長を務めました。三男で作家の庄野潤三氏が竹鶴賞を受賞した小説「パールサイド小景」は帝塚山学院のプールがモデルとなりました。

5 帝塚山古墳
後円部を北へ向ける前方後円墳で、全長約120m、前方部の幅が約50m、高さ約8m、後円部の直径約57m、高さ約10m、前方部を南西に向け、2段に築かれています。前方部から出土した円筒埴輪から、4世紀末~5世紀初頭の古墳と推定されます。前方後円墳として原形を留める大阪市内唯一のもので、上町台地の南端部にあたり、古墳が築かれた当時は西側近くまで海が迫っていたので、海からもよく臨めたものと思われまます。大伴金村の墓という説もありましたが、6世紀前半に活躍した金村とは時代が合わず、被葬者は不明です。

6 市川家住宅
母屋の2階部分が洋館、1階が和風住宅と帝塚山地域では珍しい和洋折衷様式の館です。漆喰の壁と木の床の響きが素晴らしいと、土蔵をフレンチコスタジオに改装し、帝塚山スタジオ・市川恵子フラメンコ舞踊研究所として使われています。

7 神ノ木
かつて神木としてあがめられた古松があったから、或いは住吉大社神宮の神宮の祖先神を祀った社があったからともいわれる「神ノ木」、今は上町線の駅名として残っています。路面電車が鉄道のの上を走るアスファルトでもあります。

8 摂津酒造跡
摂津酒造(摂津酒造醸造所)は、阿部喜兵衛氏が社長で、明治40年(1907)からアルコール製造に着手、自社で蒸溜したアルコールをもとに、ブランデー、ウイスキー、甘味葡萄酒などを製造し、大正当時は3大アルコール製造会社の1つといわれました。清酒「白牡丹」などの銘柄を持ち、住吉区住吉町1063、現在の住吉東駅北側にあった醸造工場には専用の貨物引き込み線まで敷設されていました。昭和39年(1964)10月、宝酒造に合併されて同社の大阪工場となり、さらに昭和48年(1973)3月、工場は廃止されました。

帝塚山のモダン住宅
明治まで荒地だった帝塚山は住吉町の地主連によって住宅地として開発され、阪堺鉄道などの交通の便や、帝塚山学院など教育環境も整えられたことから住宅地としての人気が高まり、船場の大商人や資産家の住居と蔵の並ぶ街並みは大阪を代表する高級住宅地となりました。クラシックな白壁の蔵に混じって村野藤吾や安藤忠雄など有名建築家の作品が混在するモダンな街並みとなっています。

♥ グルメ
... まち歩きルート



郊外住宅開発のさきがけとなった帝塚山
国産ウイスキーの誕生を支えた竹鶴政孝夫妻リタとマッサンが
住んだモダンな住宅街に、
大阪市内で唯一前方後円墳を留める帝塚山古墳があります。

知ってはる?竹鶴政孝夫妻と帝塚山の物語

大正時代の日本ではまだウイスキーは第一回大戦後の不況の中で、本格ウイスキーづくりに取り組んでいませんでした。大阪の旧住吉村にあって摂津酒造の阿部喜兵衛社長は、大正11年に同社を退職します。竹鶴は(浪人の身となって、一時期、近在の桃山中学校で化学を教えます。リタ竹鶴夫

大正7年(1918)、24歳で現地に渡った竹鶴は刻苦精励してウイスキーづくりを習得します。そして地元で知り合った女性ジェシー・リタ・カウと結婚します。大正9年に帰国した2人は、姫松(現帝塚山)の借家に住みました。ところが、摂津酒造の社名は大日本果汁株式会社でしたが、やがてニッカウイスキー株式会社になりました。昭和36年(1961)、リタは64歳でなくなりました。夫竹鶴政孝の本格ウイスキーづくりの夢と志に寄り添いつづけた生涯でした。

(「帝塚山学院物語」第19章)

リタとマッサンの住んだ レトロモダンのまち・帝塚山をゆく

国産ウイスキーの誕生を支えた
竹鶴政孝・リタ夫妻 特集

広告掲載枠

広告掲載枠

広告掲載枠